

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東

コード番号 2810 URL https://housefoods-group.com

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 博史

問合せ先責任者 (役職名) 広報・I R部長 (氏名) 三宅 英貴 (TEL) 03-5211-6039

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		売上高 営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	153, 602	△0.9	5, 868	△36.6	6, 448	△33. 1	5, 601	1. 6
2025年3月期中間期	154, 964	8. 5	9, 257	14. 8	9, 638	9. 9	5, 510	△49.1

(注)包括利益 2026年3月期中間期 3,028百万円 (△76.7%) 2025年3月期中間期 13,012百万円 (△25.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	60. 02	_
2025年3月期中間期	57. 69	_

(注) 2025年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	424, 060	318, 364	68. 2	3, 123. 07
2025年3月期	435, 074	322, 878	67. 3	3, 113. 86

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 289,208百万円 2025年3月期 292,823百万円

2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計							
	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2025年3月期	_	24. 00	_	24. 00	48. 00				
2026年3月期	_	24. 00							
2026年3月期(予想)			_	24. 00	48. 00				

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売」	-高	営業	利益	経常	利益		主に帰属 明純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	321, 500	1. 9	19, 000	△5.0	20, 300	△5.1	13, 000	4. 1	140. 68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

詳細は、【添付資料】P5「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:有

新規 1社 (社名)ハウスフーズインドネシア社 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 :無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	98, 498, 416株	2025年3月期	98, 498, 416株
2026年3月期中間期	5, 894, 845株	2025年3月期	4, 459, 697株
2026年3月期中間期	93, 317, 277株	2025年3月期中間期	95, 511, 435株

- (注) 期末自己株式数には、ハウス食品グループ本社社員持株会専用信託が保有する当社株式 (2026年3月期中間期467,100株、2025年3月期598,700株) が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、当該信託が保有する当社株式 (2026年3月期中間期521,267株、2025年3月期中間期247,400株) を含んでおります。
- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
 - ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および 合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のもので はありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 - ・その他、業績予想に関する事項は、【添付資料】P5「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当中間期の経営成績の概況	2
(2)当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1)中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(追加情報)	14
3. 補足情報	16
(1) 業績の状況	16
(2) グループ会社数	16
(3)連結損益計算書の状況	17
(4)連結貸借対照表の状況	21
(5) 連結キャッシュ・フローの状況	22
(6) 設備投資の状況	22
(7) 減価償却費の状況	22
(8) 主要経営指標等	23
(9)参考情報	24

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、"「食で健康」クオリティ企業への変革<第二章>グローバルなバリューチェーン(以下「VC」)構築による成長"をテーマに第八次中期計画を推進しております。当中期計画では、グローバルなVC体制を構築し将来に向け更に成長できる礎を築くと同時に、資本コストを意識した経営に向けてROIC(投下資本利益率)を導入するなど、バックキャスト視点での企業価値向上に向けた取組を進めております。

当中間連結会計期間は、各国の経済政策を起因とした金利・為替の変動の影響、また日本国内では原材料を中心とした事業コストの上昇、インフレ進行に伴う消費者の節約志向の高まりなどがあり、国内外ともに市場環境は厳しさを増しております。

当社グループの売上高は、一部製品・サービスの価格改定や需要喚起に取り組みましたが、当中間連結会計期間においては改定後の需要回復の途上であることや消費環境の変化もあり減収となりました。営業利益は原材料を中心とした事業コストの上昇影響により減益となり、経常利益も減益となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は政策保有株式の売却により増益となりました。

なお、前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間との比較・分析にあたっては、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映させた金額を用いております。

これらの結果、当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

	2026年3月期 中間期			
	金額(百万円)	前年同期比(%)		
売上高	153, 602	99. 1		
営業利益	5, 868	63. 4		
経常利益	6, 448	66. 9		
親会社株主に帰属する中間純利益	5, 601	101.6		

セグメント別の経営成績の概況(セグメント間取引消去前)は、次のとおりであります。

こうプライがの配音が続い、Cラグライド取り行音が行音、COOとものではのかよう。							
事業の種類別	売」	上高	営業利益 (セグメント利益又は損失(△))				
セグメント	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)			
香辛・調味加工食品事業	61, 748	97. 6	2, 999	55. 7			
健康食品事業	8, 660	99. 3	945	68. 1			
海外食品事業	30, 545	99. 3	1, 448	85. 3			
外食事業	32, 004	108. 2	1, 861	107. 5			
その他食品関連事業	26, 241	93. 5	474	73. 6			
小計	159, 198	99. 2	7, 728	71. 3			
調整 (消去)	△5, 596	_	△1,860	_			
合計	153, 602	99. 1	5, 868	63. 4			

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

当事業セグメントは、事業コストの上昇を吸収するため5月以降、主力製品の価格改定を行いました。家庭用事業は早期の需要回復に向け積極的な販売施策を展開しておりますが、当中間連結会計期間においては改定後の一時的な販売数量減少からの回復途上にあり、減収となりました。業務用事業はチャネル別営業施策が奏功し増収となりました。結果、事業全体では減収となりました。利益面は、事業コストの上昇に対して価格改定効果の発現がまだ限定的であることや新価格定着に向けたマーケティングコストを投下したことから減益となりました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は617億48百万円、前年同期比2.4%の減収、営業利益は29億99 百万円、前年同期比44.3%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は4.9%となり、前年同期より3.7pt減少いたしました。

<健康食品事業>

売上高は、需要期の拡売に注力した「C1000」が好調に推移した一方、競争環境が激化する「1日分のビタミンゼリー」の販売減少等により減収となりました。利益面は減収影響に加え原材料価格等の高騰により減益となりました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は86億60百万円、前年同期比0.7%の減収、営業利益は9億45百万円、前年同期比31.9%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は10.9%となり、前年同期より5.0pt減少いたしました。

<海外食品事業>連結対象期間:主として2025年1月~6月

米国大豆事業は、米国内の節約志向の高まりによる販売の停滞や第1四半期連結会計期間における一時的な生産トラブルによる販売機会の損失影響もあり減収減益となりました。

中国カレー事業は、家庭用事業については前年同期に流通在庫適正化に取り組んだことに加え、配荷型の営業戦略への転換が進み販売が堅調に推移したことから増収増益となりました。業務用事業については新規顧客開拓に注力することで増収増益となりました。以上により中国カレー事業全体で増収増益となりました。

東南アジア機能性飲料事業は、タイ国内の天候不順による飲料市場全体の落ち込みやトラディショナルトレードにおける販売苦戦もあり減収減益となりましたが、円貨換算では売上・利益ともに前年同期並みの水準となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は305億45百万円、前年同期比0.7%の減収、営業利益は14億48百万円、前年同期比14.7%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は4.7%となり、前年同期より0.8pt減少いたしました。

<外食事業>連結対象期間:㈱壱番屋は2025年3月~8月、国内外子会社は2025年1月~6月

売上高は、㈱壱番屋が推進する国内事業において昨年8月の価格改定や期間限定メニューの販売などが貢献したほか、国内子会社の事業拡大等から増収となりました。利益面は、本部経費等のコスト増があるものの、増収効果が上回り増益となりました。

以上の結果、外食事業の売上高は320億4百万円、前年同期比8.2%の増収、営業利益は18億61百万円、前年同期比7.5%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は5.8%となり、前年同期水準となりました。

<その他食品関連事業>

㈱デリカシェフは、総菜・デザートの販売苦戦により減収減益となりました。

(構ヴォークス・トレーディングは、ミニマム・アクセス米の取引数量の減少により減収となりましたが、香辛 野菜や冷凍果実など注力商材の販売が堅調に推移したことに加え、一部商材の価格転嫁が進んだことにより増益 となりました。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は262億41百万円、前年同期比6.5%の減収、営業利益は4億74百万円、前年同期比26.4%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は1.8%となり、前年同期より0.5pt減少いたしました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、4,240億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて110億13百万円の減少となりました。

流動資産は、商品及び製品が増加した一方で、現金及び預金が減少したことなどから、103億82百万円減少の1,794億20百万円となりました。固定資産は、投資有価証券が増加した一方で、機械装置及び運搬具や顧客関連資産、契約関連無形資産が減少したことなどから、6億31百万円減少の2,446億41百万円となりました。

負債は、1,056億96百万円となり、前連結会計年度末に比べて65億円の減少となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金や未払金、短期借入金が減少したことなどから、59億74百万円減少の571億47 百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が増加した一方で、退職給付に係る負債が減少したことなどか ら、5億26百万円減少の485億49百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益により利益剰余金が増加した一方で、為替換算調整勘定が減少したことや、自己株式の取得により自己株式が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて45億14百万円減少の3,183億64百万円となりました。

この結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は68.2%(前連結会計年度末は67.3%)、1株当たり純資産は3,123円07銭(前連結会計年度末は3,113円86銭)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境などを踏まえ、2025年5月8日に公表した内容を下記のとおり修正いたします。

・2026年3月期通期連結業績予想の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	前回 発表予想	今回 修正予想	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	333, 000	321,500	△11,500	△3. 5
営業利益	21, 500	19,000	△2, 500	△11.6
経常利益	22, 400	20, 300	△2, 100	△9. 4
親会社株主に帰属する 当期純利益	13, 000	13, 000	-	-

参考
前期実績
百万円
315, 418
20, 004
21, 388
12, 493

・セグメント売上高

	前回 発表予想	今回 修正予想	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
香辛・調味加工食品事業	135, 500	133, 400	△2, 100	△1.5
健康食品事業	19, 500	17, 500	△2,000	△10.3
海外食品事業	67, 800	63, 200	△4,600	△6.8
外食事業	67, 300	67, 300	_	_
その他食品関連事業	54, 100	51, 100	△3,000	△5. 5
調整 (消去)	△11, 200	△11,000	+200	_

参考
前期実績
百万円
131, 402
17, 043
62, 407
60, 986
54, 405
△10, 824

・セグメント営業利益

	前回	今回	増減額	増減率
	発表予想	修正予想	垣似領	1百00.中
	百万円	百万円	百万円	%
香辛・調味加工食品事業	12, 500	12,800	+300	+2.4
健康食品事業	2, 500	1,600	△900	△36. 0
海外食品事業	4, 800	3, 600	△1, 200	△25. 0
外食事業	4, 100	4, 100	_	_
その他食品関連事業	1,500	1,000	△500	△33. 3
調整(消去)	△3, 900	△4, 100	△200	_

参考					
前期実績					
百万円					
12, 816					
2, 437					
3, 044					
3, 604					
1, 235					
△3, 132					

(注)本資料における上記の予想を含む記述は、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。今後、業績予想修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	:	(単位:日万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	97, 484	85, 615
受取手形及び売掛金	53, 664	53, 781
有価証券	999	1,000
商品及び製品	19, 602	20, 561
仕掛品	4, 255	4, 836
原材料及び貯蔵品	8, 800	9, 007
その他	5, 070	4, 698
貸倒引当金	$\triangle 72$	△78
流動資産合計	189, 802	179, 420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39, 357	39, 181
機械装置及び運搬具(純額)	24, 001	21, 837
土地	30, 702	30, 427
リース資産 (純額)	1, 847	2, 245
建設仮勘定	8,606	9,066
その他(純額)	6, 184	5, 715
有形固定資産合計	110, 698	108, 471
無形固定資産	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•
のれん	3, 734	3, 657
商標権	18, 081	17, 752
ソフトウエア	3, 699	3, 597
契約関連無形資産	16, 602	16, 202
顧客関連資産	4, 650	4, 164
ソフトウエア仮勘定	1, 211	1,005
その他	1, 402	1, 363
無形固定資産合計	49, 379	47,740
投資その他の資産		,
投資有価証券	48, 344	51, 484
長期貸付金	16	17
繰延税金資産	1, 749	1, 751
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	27, 626	27, 667
破産更生債権等	171	167
長期預け金	985	980
その他	6, 555	6, 601
貸倒引当金	△1, 251	$\triangle 1, 237$
投資その他の資産合計	85, 195	88, 429
固定資産合計	245, 272	244, 641
資産合計		
貝炷百訂	435, 074	424, 060

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	(単位:百万円) 当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22, 261	20, 309
電子記録債務	1, 422	1, 567
短期借入金	7, 859	6, 558
リース債務	856	852
未払金	10, 637	8,904
未払法人税等	4, 506	4, 234
賞与引当金	658	585
役員賞与引当金	80	42
株主優待引当金	236	284
資産除去債務	14	5
その他	14, 591	13, 807
流動負債合計	63, 121	57, 147
固定負債		
長期借入金	6, 549	5,744
リース債務	5, 022	4, 910
長期未払金	132	431
繰延税金負債	23, 358	24, 274
退職給付に係る負債	7, 333	6, 166
資産除去債務	1, 228	1, 242
長期預り保証金	3, 588	3, 578
その他	1, 864	2, 207
固定負債合計	49, 075	48, 549
負債合計	112, 196	105, 696
純資産の部		
株主資本		
資本金	9, 948	9, 948
資本剰余金	22, 849	22, 848
利益剰余金	232, 501	235, 831
自己株式	△13,008	$\triangle 17,072$
株主資本合計	252, 290	251, 556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20, 346	22, 686
繰延ヘッジ損益	98	△158
為替換算調整勘定	16, 626	11, 810
退職給付に係る調整累計額	3, 463	3, 314
その他の包括利益累計額合計	40, 533	37, 652
非支配株主持分	30, 055	29, 156
純資産合計	322, 878	318, 364
負債純資産合計	435, 074	424, 060

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

		(単位:白万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	154, 964	153, 602
売上原価	98, 161	97, 773
売上総利益	56, 803	55, 829
販売費及び一般管理費	47, 545	49, 961
営業利益	9, 257	5, 868
営業外収益		
受取利息	140	171
受取配当金	503	457
受取家賃	438	444
その他	197	381
営業外収益合計	1, 277	1, 453
営業外費用		
支払利息	26	199
賃貸費用	341	343
為替差損	365	70
持分法による投資損失	19	18
その他	145	243
営業外費用合計	897	873
経常利益	9, 638	6, 448
特別利益		
固定資産売却益	272	15
投資有価証券売却益	11	4, 470
店舗売却益	69	15
退職給付制度改定益	_	72
その他	41	5
特別利益合計	393	4, 577
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	112	382
投資有価証券評価損	243	161
会員権評価損	<u> </u>	8
減損損失	162	336
その他	<u> </u>	2
特別損失合計	519	889
税金等調整前中間純利益	9, 512	10, 136
法人税等	3, 074	3, 986
中間純利益	6, 437	6, 149
(内訳)	-	
親会社株主に帰属する中間純利益	5, 510	5, 601
非支配株主に帰属する中間純利益	927	548

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	$\triangle 2,575$	2, 359
繰延ヘッジ損益	173	△282
為替換算調整勘定	9, 211	△5, 010
退職給付に係る調整額	△259	△141
持分法適用会社に対する持分相当額	25	$\triangle 47$
その他の包括利益合計	6, 575	△3, 121
中間包括利益	13, 012	3,028
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11, 657	2, 720
非支配株主に係る中間包括利益	1, 354	308

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	:	(平位:日2711)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9, 512	10, 136
減価償却費	6, 317	6, 521
のれん償却額	572	266
減損損失	162	336
持分法による投資損益(△は益)	19	18
投資有価証券評価損益(△は益)	243	161
会員権評価損	_	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△39	△8
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△38
株主優待引当金の増減額(△は減少)	63	48
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△135	△902
受取利息及び受取配当金	△643	△628
支払利息	26	199
為替差損益(△は益)	496	130
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	△4, 470
固定資産売却損益(△は益)	△270	△15
固定資産除却損	112	382
店舗売却損益(△は益)	△69	△15
退職給付制度改定益	_	$\triangle 72$
売上債権の増減額(△は増加)	555	△616
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1, 428	△1, 989
仕入債務の増減額(△は減少)	$\triangle 1, 150$	△1, 239
未払賞与の増減額(△は減少)	56	△73
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△59	△13
その他の資産の増減額 (△は増加)	244	127
その他の負債の増減額(△は減少)	△3,740	$\triangle 742$
小計	10, 815	7, 514
利息及び配当金の受取額	516	1, 219
利息の支払額	$\triangle 27$	△80
法人税等の支払額	△3, 629	△4, 309
営業活動によるキャッシュ・フロー	7, 675	4, 344

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△558	\triangle 12, 931
定期預金の払戻による収入	485	18, 383
有価証券の取得による支出	△2, 000	△2,000
有価証券の売却による収入	_	2,000
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 7,203$	△6, 283
有形固定資産の売却による収入	400	57
店舗売却による収入	128	33
無形固定資産の取得による支出	△955	△843
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 96$	$\triangle 1, 103$
投資有価証券の売却による収入	2, 237	4, 973
会員権の取得による支出	$\triangle 2$	_
関係会社株式の取得による支出	_	△100
事業譲受による支出	-	△426
出資金の回収による収入	0	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\triangle 7,565$	1, 764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△489	$\triangle 1,346$
リース債務の返済による支出	△513	△592
長期借入金の返済による支出	$\triangle 64$	△394
長期借入れによる収入	2, 089	-
自己株式の取得による支出	△8, 088	△4, 485
子会社の自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	-
配当金の支払額	$\triangle 2,324$	$\triangle 2,271$
非支配株主への配当金の支払額	△1, 159	$\triangle 1,247$
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10, 548	△10, 336
現金及び現金同等物に係る換算差額	2, 701	△2, 127
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7, 736	△6, 355
現金及び現金同等物の期首残高	80, 165	88, 357
現金及び現金同等物の中間期末残高	72, 428	82,002

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前中間純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

			報告セク	ブメント						中間
	香辛· 調味加工 食品事業	健康食品事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	二 件	その他	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高										
外部顧客への売上高	60, 625	8, 471	30, 456	29, 486	25, 842	154, 880	_	154, 880	84	154, 964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2, 644	250	306	92	2, 236	5, 529	_	5, 529	△5, 529	_
∄	63, 270	8, 721	30, 762	29, 578	28, 077	160, 409	_	160, 409	△5, 445	154, 964
セグメント利益又は 損失(△)	5, 384	1, 387	1, 697	1, 732	645	10, 845	_	10, 845	△1, 588	9, 257

- (注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。
 - (1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。
 - (2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ㈱等の損益△1,588百万円が含まれております。
 - 2. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、162百万円計上しております。

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

			報告セク	ゲメント						中間
	香辛· 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計	その他	合計	調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高										
外部顧客への売上高	59, 148	8, 403	30, 299	31, 955	23, 731	153, 535	_	153, 535	67	153, 602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,600	257	246	49	2, 511	5, 663	ĺ	5, 663	△5, 663	_
計	61, 748	8, 660	30, 545	32, 004	26, 241	159, 198	_	159, 198	△5, 596	153, 602
セグメント利益又は 損失 (△)	2, 999	945	1, 448	1, 861	474	7, 728	_	7, 728	△1,860	5, 868

- (注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。
 - (1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。
 - (2) セグメント利益又は損失 (\triangle) には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ㈱等の損益 \triangle 1,860百万円が含まれております。
 - 2. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
 - 3. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間のセグメント情報は、暫定的な会計処理の確定の内容が反映された後の金額により開示しております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、336百万円計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,582,800株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が4,484百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が17,072百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の異動を伴う株式等譲渡)

当社は2025年9月2日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社デリカシェフ(以下、デリカシェフ)の株式ならびに、当社が保有するデリカシェフの事業に係る資産を全て株式会社武蔵野(以下、武蔵野)へ譲渡すること(以下、本件譲渡という)を決議いたしました。本件譲渡に伴い、デリカシェフは当社の連結子会社から除外されることとなります。

1. 本件譲渡の理由

当社グループは「食を通じて人とつながり、笑顔ある暮らしを共につくるグッドパートナーをめざします。」をグループ理念に掲げ、「3つの責任(お客様への責任、社員とその家族への責任、社会への責任)」の視点を重視し、創業以来培ってきた強みにグループ各社の強みを掛け合わせ、「食で健康」を追求し、グローバルにプレゼンスのあるクオリティ企業をめざしています。

デリカシェフにおいては 1985年の創業以来、当社グループで培った品質管理や製品開発の強みを生かし株式会社セブン - イレブン・ジャパン向けの総菜、デザート、パン等の製造、販売を通して当社グループ理念の実現に貢献してまいりました。

当社は現在進行中の第八次中期計画において、スパイス系、大豆系、機能性素材系の3つのバリューチェーンをコアの成長領域と位置づけ、グローバルなバリューチェーン構築による成長をめざし経営資源の集中投下を進めております。このような状況のなかデリカシェフとコアの成長領域とのシナジーなどを勘案した結果、デリカシェフの更なる事業成長に向けて、同社と同じくコンビニエンスストア向けの食品製造事業を行う武蔵野にデリカシェフの事業を譲渡することとしました。武蔵野の強みである製品開発や生産管理のノウハウとデリカシェフが持つ強みは相互補完性が高く、また両社の事業規模を生かして調達や物流領域の競争力強化などのシナジーを創出することにより、デリカシェフの更なる事業成長が可能になると考えております。

2. 異動する子会社 (デリカシェフ) の概要

(1) 名称	株式会社デリカシェフ							
(2) 所在地	埼玉県久喜市清久町49番地2							
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 喜博							
(4) 事業内容	食品製造業(惣菜/サラダ	/デザート/焼成パン)						
(5) 資本金	6,000万円							
(6) 設立年月	1985年8月							
(7) 出資者及び出資比率	ハウス食品グループ本社株	式会社 100%						
	資本関係	資本関係 当該会社は当社が株式100%を所有する連結子会社であります。						
 (8) 当社との関係	人的関係 該当事項はありません。							
(の) 当任との関係		当社所有の土地、建物、機械装置を当該会社へ賃貸して						
	取引関係	おります。						
		当社から当該会社へ資金貸付を行っております。						
(9) 当該会社の最近3年間	の財政状態及び経営成績							
決算期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期					
純資産	2,300百万円	2,610百万円	2,533百万円					
総資産	4,674百万円 5,049百万円 4,404百							
売上高	19,281百万円	19,415百万円	18,848百万円					
営業利益	198百万円	484百万円	△172百万円					
当期純利益	141百万円	310百万円	△77百万円					

3. 本件譲渡の相手先の情報

株式会社武蔵野					
埼玉県朝霞市西原1-1-	- 1 武蔵野ビル				
代表取締役社長 安田 信行	r̃				
弁当・おにぎり・寿司・訓 施設の運営、管理	月理パン・調理麺等の製造および販売・スポーツレジャー				
1億円					
1969年12月					
安田 信行 49.2% 株式会社武蔵野ホールディングス 22.5%					
資本関係	該当事項はありません。				
人的関係	該当事項はありません。				
取引関係 記載すべき取引関係はありません。					
(9) 直近事業年度の純資産及び総資産					
2025年3月期					
純資産 56,749百万円					
総資産 103,101百万円					
	代表取締役社長 安田 信行 弁当・おにぎり・寿司・調 施設の運営、管理 1億円 1969年12月 安田 信行 49.2% 株式会社武蔵野ホールディ 資本関係 人的関係 取引関係 及び総資産 2025年3月期 56,749百万円				

4. 本件譲渡の内容

(1) 株式譲渡、固定資産譲渡の概要

株式譲渡の概要			
①異動前の所有持分数	普通株式8,043株 (議決権所有割合:100%)		
②譲渡持分数	普通株式8,043株 (議決権所有割合:100%)		
③異動後の所有持分数 0株 (議決権所有割合:0.00%)			
固定資産譲渡の概要			
①資産の名称	久喜工場土地及び建物、習志野工場資産		

(2) 譲渡価額 90億円

5. 日程

(1) 取締役会決議日 2025年9月2日					
(2) 契約締結日	2025年9月2日				
(3) 譲渡実行日	2026年1月15日 (予定)				

6. 今後の見通し

2026年3月期における当社連結財務諸表への影響は軽微であると見込んでおりますが、現在精査中です。

3. 補足情報

2023年12月28日に当社の連結子会社である㈱壱番屋が行った㈱LFD JAPANの株式取得について、2025年3月期に同社取得原価の配分(PPA)が完了いたしました。当会計処理の完了に伴い、前連結会計年度に係る各数値については、PPA完了の内容を反映させた金額を用いております。

(1)業績の状況

《連 結》

1111	- 467								
						3期 間期			3期 間期
				金	額	前年同期比	金	額	前年同期比
売	売 上 高				, 964	108. 5%	153,	602	99. 1%
営	業	利	益	9	, 257	114.8%	5,	868	63.4%
経	常	利	益	9	, 638	109. 9%	6,	448	66. 9%
親会中間	社株主 (当其	に帰属 別) 純	する 利益	5.	, 510	50.9%	5,	601	101.6%
				, and the second	·		, and the second	Ť	

		(単位	: 百万円)		
	3期 i期	26.3期 通期修正予想			
金 額	前期比	金額	前期比		
315, 418	105.3%	321, 500	101.9%		
20,004	102.7%	19,000	95.0%		
21, 388	101.4%	20, 300	94.9%		
12, 493	71.1%	13, 000	104. 1%		
•					

包	括	利	益	13, 012	74. 9%	3, 028	23.3%
---	---	---	---	---------	--------	--------	-------

|--|

《事業セグメント別売上高の状況》

5	苊		上			高	金	額	前年同期比	金	額	前年同期比
	香辛・調味加工食品事業						63	, 270	104. 7%	61	748	97.6%
	健	康	食	品	事	業	8	, 721	101.4%	8	660	99.3%
	海	外	食	品	事	業	30	, 762	116.3%	30	545	99.3%
	外	外 食 事 業		29	, 578	110. 3%	32	004	108. 2%			
	その他食品関連事業				28	, 077	109.0%	26	241	93. 5%		
	調	調 整 額			△5	, 445	_	△5	596	_		

金 額	前期比	金額	前期比
131, 402	104.1%	133, 400	101.5%
17,043	101.1%	17, 500	102.7%
62, 407	110.7%	63, 200	101.3%
60, 986	110.6%	67, 300	110.4%
54, 405	98.8%	51, 100	93. 9%
△10,824	_	△11,000	_

《事業セグメント別営業利益の状況》

	***	//-				•	14 1 47		V + D = 11			
Ļ	営	業	Ē	利		益	金	額	前年同期比	金	額	前年同期比
	香辛	三 . 訓	周味力	叩工套	2品3	事業	5,	384	146. 9%	2,	999	55. 7%
	健	康	食	品	事	業	1,	387	112.7%		945	68. 1%
	海	外	食	品	事	業	1,	697	154. 9%	1,	448	85. 3%
	外		食	事	:	業	1,	732	95. 9%	1,	861	107. 5%
	そ(の他	食品]関	連事	業		645	59. 3%		474	73.6%
	調		車	色		額	Δ1,	588	_	△1,	860	_

金額	前期比	金 額	前期比
12, 816	118.3%	12,800	99.9%
2, 437	98.9%	1,600	65. 7%
3, 044	99. 2%	3,600	118.3%
3, 604	106. 2%	4, 100	113.8%
1, 235	64.0%	1,000	81.0%
△3, 132	_	△4, 100	_

(2) グループ会社数

			25. 3期 中間期	26. 3期 中間期
連結子会社数			46社	50社
	玉	内	19社	21社
	海	外	27社	29社
扌	寺分法適用関連会社		4社	5社
	玉	内	2社	2社
	海	外	2社	3社

(単位:百万円)

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

25.3期 26.3期 対前年同期増減 中間期 金額 百分比 金額 百分比 金額 増減率 売上高 153,602 100.0% $\triangle 1,362$ 154,964 100.0% △0.9% 《事業セグメント別》 香辛‧調味加工食品事業 63, 270 40.8% 61,748 40.2% $\triangle 1,522$ $\triangle 2.4\%$ 健康食品事業 8,721 5.6% 8,660 5.6% $\triangle 61$ $\triangle 0.7\%$ 海外食品事業 30,762 19.9% 30,545 19.9% $\triangle 217$ $\triangle 0.7\%$ 外食事業 29,578 19.1% 32,004 20.8% 2,426 8.2% その他食品関連事業 28,077 18.1% 26, 241 17.1% △1,836 $\triangle 6.5\%$ 調整額 $\triangle 5,445$ △3.5% $\triangle 5,596$ △3.6% $\triangle 152$ 売上原価 98, 161 63.3% 97,773 63.7% $\triangle 388$ △0.4% 販売費·一般管理費 47, 545 30.7% 49,961 32.5% 2,416 5.1% 営業利益 9,257 3.8% △3, 389 6.0% 5,868 △36.6% 《事業セグメント別》 香辛‧調味加工食品事業 3.5% 2,999 2.0% △2, 385 △44.3% 5, 384 健康食品事業 0.9% 0.6% 1,387 945 $\triangle 442$ △31.9% 海外食品事業 1,697 0.9% $\triangle 249$ △14.7% 1.1% 1,448 外食事業 1,732 1.1% 1,861 1.2% 129 7.5% その他食品関連事業 0.3% △26.4% 645 0.4% 474 $\triangle 170$ 調整額 $\triangle 1,588$ △1.0% $\triangle 1,860$ $\triangle 1.2\%$ $\triangle 272$ 0.9% 営業外収益 1,277 0.8% 1,453 176 13.8% 営業外費用 897 0.6% 873 0.6% $\triangle 24$ $\triangle 2.6\%$ 経常利益 9,638 6.2% 6,448 4.2% △3, 190 △33.1% 特別利益 393 0.3% 4,577 3.0% 4, 184 1,065.8% 特別損失 0.6% 370 519 0.3% 889 71.4% 6.6% 税金等調整前中間純利益 9,512 10, 136 624 6.6% 6.1% 法人税等 3,074 2.0% 3,986 2.6% 912 29.7% 中間純利益 6,437 4.2% 6, 149 4.0% $\triangle 288$ $\triangle 4.5\%$ (内訳) 5,601 親会社株主に帰属する中間純利益 5,510 3.6% 3.6% 1.6% 91 非支配株主に帰属する中間純利益 927 △379 △40.9% 0.6% 548 0.4% 中間包括利益 13,012 8.4% 3,028 2.0% △9, 984 △76.7%

② 販売費・一般管理費の主な増減内容

(単位:百万円)

	25. 3期 中間期	26. 3期 中間期	対前年同期増減
広告宣伝費	4, 084	4, 125	42
運送費及び保管費	6, 687	6, 682	$\triangle 5$
販売手数料	47	66	19
販売促進費	1, 926	2, 222	295
人件費	17, 411	18, 554	1, 143
研究開発費	2, 339	2, 389	50
のれん償却額	572	266	△306
その他	14, 478	15, 656	1, 178
販売費・一般管理費計	47, 545	49, 961	2, 416

③ 営業外損益の主な増減内容

(単位:百万円)

	25. 3期 中間期	26. 3期 中間期	対前年同期増減
受取利息	140	171	31
受取配当金	503	457	$\triangle 46$
受取家賃	438	444	6
その他	197	381	185
営業外収益計	1, 277	1, 453	176
支払利息	26	199	173
賃貸費用	341	343	1
為替差損	365	70	△294
持分法による投資損失	19	18	$\triangle 2$
その他	145	243	98
営業外費用計	897	873	△24

④ 特別損益の主な増減内容

	25. 3期 中間期	26. 3期 中間期	対前年同期増減
固定資産売却益	272	15	△257
投資有価証券売却益	11	4, 470	4, 460
店舗売却益	69	15	△55
退職給付制度改定益	_	72	72
その他	41	5	$\triangle 36$
特別利益計	393	4, 577	4, 184
固定資産売却損	2	0	Δ1
固定資産除却損	112	382	270
投資有価証券評価損	243	161	△82
会員権評価損	_	8	8
減損損失	162	336	174
その他	_	2	2
特別損失計	519	889	370

⑤ 四半期の状況

《連 結》 (単位:百万円)

						25.3期					26. 3期		
				1Q	2 Q	3 Q	4 Q	累計	1Q	2 Q	3 Q	4Q	累計
売		Ŀ.	高	74, 733	80, 231	84, 393	76, 061	315, 418	75, 699	77, 903			153, 602
		Ĭ	前期増減	4, 280	7, 860	1,520	2, 158	15, 818	966	△2, 327			△1, 362
営	業	利	益	5, 572	3, 686	8, 442	2, 304	20, 004	3, 418	2, 450			5, 868
		Ĭ	前期増減	658	533	△161	△496	534	△2, 153	△1, 236			△3, 389
経	常	利	益	5, 724	3, 914	8, 757	2, 993	21, 388	3, 666	2, 782			6, 448
		Ĭ	前期増減	472	397	△72	△493	303	△2, 058	△1, 132			△3, 190
	会 社 株 主 半 期 (当		属する 純利益	3, 556	1, 954	6, 662	321	12, 493	1,801	3, 801			5, 601
		Ī	前期増減	△4, 422	△893	1, 125	△896	△5, 086	△1, 756	1,846			91
包	括	利	益	6, 839	6, 173	△1, 289	3, 569	15, 292	1, 090	1, 938			3, 028
		Ī	前期増減	△3, 838	△532	△12, 523	3, 862	△13, 031	△5, 749	△4, 235			△9, 984

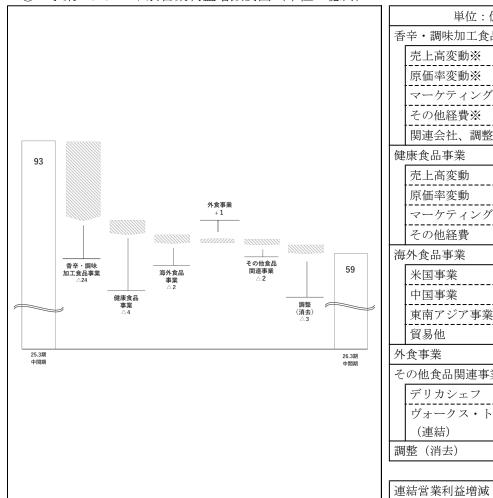
《事業セグメント別売上高》

_	ŧ			高			25.3期					26. 3期		
2	Ľ		-	向	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	累計	1Q	2 Q	3 Q	4Q	累計
	香辛	・調味	加工	食品事業	30, 749	32, 521	37, 607	30, 525	131, 402	29, 761	31, 987			61, 748
				前期増減	1, 154	1,692	1, 945	325	5, 116	△988	△534			△1,522
	健	康 食	品	事 業	4, 276	4, 445	4, 786	3, 535	17, 043	4, 072	4, 588			8, 660
				前期増減	140	△22	62	∆3	178	△204	143			△61
	海	外 食	묘	事 業	15, 014	15, 748	15, 848	15, 797	62, 407	15, 912	14, 633			30, 545
				前期増減	1, 573	2, 733	367	1, 359	6, 032	898	△1, 115			△217
	外	食	틕	事 業	14, 240	15, 338	15, 391	16, 016	60, 986	15, 744	16, 260			32, 004
				前期増減	1, 342	1, 423	1, 046	2, 042	5, 854	1, 504	922			2, 426
	その	の他食	品関	連事業	12, 935	15, 142	13, 435	12, 892	54, 405	12, 781	13, 460			26, 241
				前期増減	77	2, 252	△1, 752	△1, 216	△640	△154	△1,682			△1,836
	調	•	整	額	△2, 480	△2, 964	△2, 675	△2, 704	△10, 824	△2, 571	△3, 025			△5, 596
				前期増減	△6	△217	△147	△350	△721	△91	△61			△152

《事業セグメント別営業利益》

ŕ	業	利	益			25.3期					26. 3期		
4	来	个 リ	盆	1Q	2 Q	3 Q	4Q	累計	1 Q	2 Q	3 Q	4Q	累計
香:	辛・調味	加工1	食品事業	2, 853	2, 532	5, 414	2, 018	12, 816	1, 167	1,833			2, 999
			前期増減	1, 059	660	449	△183	1, 985	△1,686	△699			△2, 385
			ROS	9. 3%	7.8%	14. 4%	6.6%	9.8%	3. 9%	5. 7%			4.9%
健	康 食	品	事 業	779	608	978	72	2, 437	356	589			945
			前期増減	190	△33	△87	△96	△27	△423	△19			△442
			ROS	18. 2%	13. 7%	20.4%	2.0%	14. 3%	8. 7%	12.8%			10.99
海	外 食	品	事 業	1, 085	613	832	515	3, 044	1, 328	120			1, 448
			前期増減	△91	692	△356	△269	△23	243	△493			△249
			ROS	7. 2%	3. 9%	5. 2%	3.3%	4. 9%	8.3%	0.8%			4. 79
外	食	事	業	749	983	1, 165	707	3, 604	933	929			1, 86
			前期増減	△180	106	69	214	209	183	△54			129
			ROS	5. 3%	6.4%	7.6%	4.4%	5. 9%	5. 9%	5. 7%			5.89
そ	の他食	品関	連事業	418	226	437	154	1, 235	199	276			474
			前期増減	△113	△329	△43	△210	△695	△220	50			△170
			ROS	3. 2%	1.5%	3. 3%	1.2%	2.3%	1.6%	2.0%			1.89
調	!	整	額	△312	△1, 275	△383	△1, 162	△3, 132	△564	△1, 296			△1,860
			前期増減	△206	△563	△193	48	△914	△251	△21			△272

⑥ 事業セグメント別営業利益増減要因(単位:億円)



単位:億円	対前年増減額
香辛・調味加工食品事業	△24
売上高変動※	△6
原価率変動※	+3
マーケティングコスト※	△5
その他経費※	△13
関連会社、調整	$\triangle 2$
健康食品事業	△4
売上高変動	Δ1
原価率変動	$\triangle 2$
マーケティングコスト	△0
その他経費	$\triangle 2$
海外食品事業	△2
米国事業	△7
中国事業	+3
東南アジア事業	△0
貿易他	+1
外食事業	+1
その他食品関連事業	△2
デリカシェフ	Δ1
ヴォークス・トレーディング (連結)	+0
調整(消去)	△3

 $\triangle 34$

※ハウス食品・ハウスギャバン・ハウス食品グループ東北工場の実績を対象に算出

(単位:百万円)

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

	25. 3	期末	26.5 中間		対前期末 増減	主な増減内容	
	金額	構成比	金額	構成比	金額		
流動資産	189, 802	43.6%	179, 420	42.3%	△10, 382	現金及び預金の減少	△11,869
						商品及び製品の増加	959
固定資産	245, 272	56. 4%	244, 641	57. 7%	△631	機械装置及び運搬具の減少	△2, 164
						顧客関連資産の減少	△486
						その他の有形固定資産の減少	△469
						契約関連無形資産の減少	△400
						投資有価証券の増加	3, 140
資産合計	435, 074	100.0%	424, 060	100.0%	△11,013		
流動負債	63, 121	14. 5%	57, 147	13.5%	△5, 974	支払手形及び買掛金の減少	△1, 953
						未払金の減少	△1, 734
						短期借入金の減少	△1, 301
						その他の流動負債の減少	△784
固定負債	49, 075	11.3%	48, 549	11.4%	△526	退職給付に係る負債の減少	△1, 167
						繰延税金負債の増加	916
負債合計	112, 196	25. 8%	105, 696	24. 9%	△6, 500		
株主資本合計	252, 290	58. 0%	251, 556	59. 3%	△734	自己株式の増加	△4, 064
						利益剰余金の増加	3, 330
その他の包括利益	40, 533	9. 3%	37, 652	8. 9%	△2, 881	為替換算調整勘定の減少	△4, 816
累計額合計						その他有価証券評価差額金の増加	2, 340
非支配株主持分	30, 055	6. 9%	29, 156	6. 9%	△898		
純資産合計	322, 878	74. 2%	318, 364	75. 1%	△4, 514		
負債純資産合計	435, 074	100.0%	424, 060	100.0%	△11,013		

(5) 連結キャッシュ・フローの状況

《連結キャッシュ・フローの主な増減内容》

(単位:百万円)

	25. 3期 中間期	26. 3期 中間期	対前年同期 増減	主な増減内容	
当要に到ったフ				投資有価証券売却損益	△4, 460
営業活動による	7, 675	4, 344	△3, 331	売上債権の増減額	$\triangle 1, 171$
11202				その他の負債の増減額	2, 998
III VANCEI II II				定期預金の払戻による収入	17, 898
投資活動による キャッシュ・フロー	△7, 565	1, 764	9, 329	投資有価証券の売却による収入	2, 735
11/04/04		定期		定期預金の預入による支出	△12, 373
HIZANGELL . 1 W				自己株式の取得による支出	3, 603
財務活動による	△10, 548	△10, 336	212	長期借入れによる収入	△2, 089
11/02/2016				短期借入金の純増減額	△857
現金及び現金同等物 中間期末残高	72, 428	82, 002	9, 574		

(6) 設備投資の状況

《連 結》 (単位:百万円)

				25. 3期 中間期	26. 3期 中間期
設	備	投	資	5, 615	6, 332
IJ	_	-	ス	145	730
	合	計		5, 760	7, 062

26.3期見込
18, 500
900
19, 400

(7)減価償却費の状況

《連 結》 (単位:百万円)

						25. 3期 中間期	26. 3期 中間期
減	価	ſ	賞	却	費	6, 317	6, 521
支	払	IJ	_	ス	料	362	438
		合	計			6, 679	6, 959

26. 3期	見込	
	12,	830
		850
	13,	680

[※]売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

(8) 主要経営指標等

《連 結》

	25. 3期 中間期	26. 3期 中間期	26.3期 通期修正予想
一株当たり中間(当期)純利益	57.69円	60.02円	140.68円
一 株 当 た り 純 資 産	3, 125. 41円	3, 123. 07円	3, 237. 18 円
投 下 資 本 利 益 率	_	_	4. 3%
総 資 産 回 転 率	_	_	0.74 回
売 上 高 営 業 利 益 率	6.0%	3.8%	5.9%
E B I T D A マージン	10.4%	8.2%	10.1 %
売 上 高 経 常 利 益 率	6. 2%	4.2%	6.3%
総資産営業利益率	_	_	4.4 %
自己資本当期純利益率	_	_	4.4 %
自 己 資 本 比 率	68.8%	68.2%	68.2 %
一 株 当 た り 配 当 金	24.00円	24.00円	48.00円
配 当 性 向	41.6%	40.0%	34.1%
総 還 元 性 向	_	_	_

^{※1. 「1}株当たり中間(当期)純利益」の算定上、「信託型社員持株インセンティブ・プラン(E-Ship*)」のハウス 食品グループ本社社員持株会専用信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に 含めております。

※2. 「1株当たり純資産」の算定上、「信託型社員持株インセンティブ・プラン (E-Ship®)」のハウス食品グループ 本社社員持株会専用信託が保有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。

従	 業		数	6,659人	6,846人		_	
//C	//	~		0,000/(0,010/0	- 1	1	

◎休職者・パートを含みません。

(9) 参考情報

① 国内市場規模(ハウス食品調べ)

(単位:億円)

	2022年度	2023年度	2024年度
ルウカレー	471	506	523
ルウシチュー	184	190	191
ルウハヤシ	64	71	73
レトルトカレー	833	877	893
スパイストータル	905	948	982

出典:(株)インテージSRI+、SCIを元に当社が算出(2022.4~2025.3)

② ルウカレー市場動向(SRI+)

2026. 3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	累計
マーケット	平均売価	244円	260円			252円		252円
全体	前年差	+7円	+21円			+14円		+14円
	平均売価	256円	274円			265円		265円
ハウス食品	前年差	+10円	+29円			+19円		+19円
	金額シェア	61.3%	61.9%			61.6%		61.6%

出典: (株) インテージSRI+ 月次データ (2025.4-2025.9)

③ 事業別動向(売上高前年比)

2026. 3期	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	累計
香辛・調味加工食品事業	(ハウス食品)						
ルウカレー ※1	98.5%	97.1%			97.8%		97.8%
レトルトカレー ※1	89.6%	89.5%			89.6%		89.6%
ルウシチュー ※1	103.3%	87.5%			92.8%		92.8%
スパイス ※1	98.8%	102.8%			100.8%		100.8%
健康食品事業(ハウスウェ	ェルネスフース	で)					
ウコンの力 ※1	98.9%	96.8%			97.8%		97.8%
C1000	107.3%	116.1%			112. 1%		112.1%
1日分のビタミン※1	92.2%	89.0%			90.4%		90.4%
海外食品事業(現地通貨~	ベース)						
米国事業	97.7%	97.2%			97.5%		97.5%
中国事業	129.7%	109.8%			118. 2%		118. 2%
タイ機能性飲料事業	98.8%	93.4%			96.0%		96.0%
外食事業 (壱番屋)							
国内全店売上高	104.0%	101.6%			102. 7%		102.7%
国内既存店売上高	103.6%	100.9%			102. 2%		102. 2%
客数	93.9%	95. 2%			94.6%		94.6%
客単価	110.3%	106.0%			108.1%		108.1%

※1製品別実績は出荷ベースの参考値